

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

						No.	31-001
PDCA	事務事業名	新美南吉記念館一般事務	部課等名	教育部 博物館 新美南吉 記念館	担当	神谷	
					内線等	26-4888	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (3) 新美南吉の顕彰と南吉文学の普及 個別施策： ②児童・生徒への学習支援					
	根拠法令等	-					
	対象・目的	・南吉研究者、来館者等に適切な情報伝達ができるようにする。 ・年代に応じた様々な講座等を実施し、より多くの人に南吉とその文学のすばらしさを知ってもらう。 ・顕彰事業（講演会、彼岸花植栽、ガイドボランティア等）を補助することで、南吉の名を全国に広める					
目的を達成するための手段・活動内容	・新美南吉とその文学に関する調査、研究及び資料の収集、整理、保管等・各講座、教室等の企画、開催 ・来館者の案内、レファレンス等 ・新美南吉顕彰会へ顕彰事業補助要綱により、補助金を交付 ・なんきち出前講座（館長または学芸員が学校に出向き、南吉に関する話をする）						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①各種講座・教室等の開催回数	74	75	21	回	
		②展示ガイドボランティア実施回数	110	120	0	回	
		事業費	7,555	10,842	6,574		
		人件費	10,810	10,402	12,383		
		総事業費	18,365	21,244	18,957		
	成果	活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①開館1日あたりの南吉記念館運営コスト（一般財源）	17,573	19,425	33,565	円	
		②各種講座、教室等参加者1人あたりの開催コスト（出前講座、テレビ授業除く）	1,258	1,546	22,250	円	
		③なんきち出前講座・テレビ授業受講者1人当たりのコスト	1,882	1,937	2,908	円	
		成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①新美南吉記念館年間入館者数	実績値 53,295	54,637	24,820	人	
		目標値 63,000	63,000	63,000			
②各種講座・教室・朗読会等の参加人数	実績値 3,898	3,131	745	人			
	目標値 2,600	4,000	4,000				
③展示ガイドボランティア案内人数	実績値 6,162	4,873	0	人			
	目標値 7,000	7,000	7,000				
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない				
事業の評価・課題	C 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4・5月を臨時休館をしたことや、イベント等の中止により年間入館者数が大幅に減少した。また、各種講座・教室・朗読会等も多くが中止となった。しかし、新美南吉に興味をもってもらう「きっかけ」として、また、南吉愛好家に更に理解を深めてもらえるように、SNSを充実させた。展示ガイドボランティアと読書会については、感染拡大防止のため活動を休止した。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 南吉に関する講座、朗読会、生誕祭・貝殻忌行事などを継続して行っていく。各種事業を充実させるため、地域、地元企業、有識者、ボランティアと連携を強化し、常に新しい魅力の発掘、発信に努め、市民の来館者数の増加を重点目標にする。					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①新美南吉記念館年間入館者数	29,000	人			
		②各種講座・教室・朗読会等の参加人数	1,400	人			
	③展示ガイドボランティア案内人数	1,600	人				